

子どもの不慮の事故の発生傾向と 事故防止に向けた取組等

子ども家庭庁
成育局安全対策課

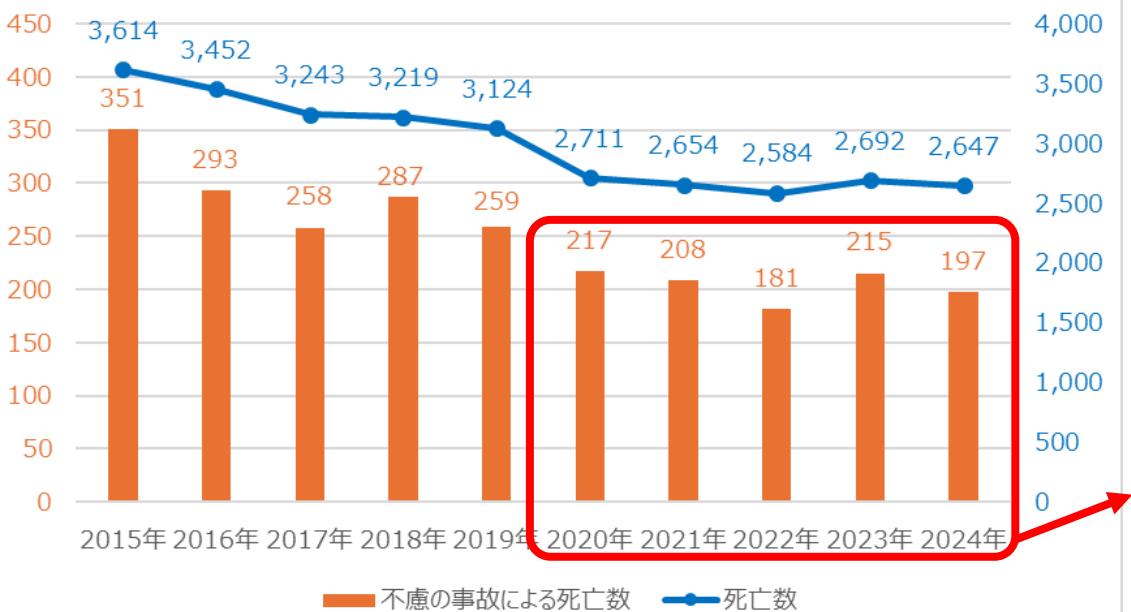
こどもまんなか
こども家庭庁

I こどもの死亡事故の現状

概要

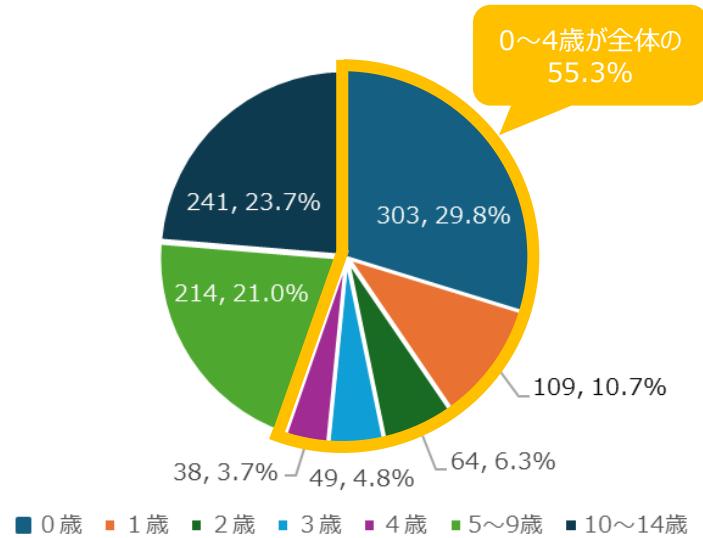
- ・子ども（0～14歳）の死亡数、不慮の事故による子どもの死亡数は、ともに概ね減少傾向にある。
- ・2024年における子どもの死亡数は2,647人で、昨年と比べ45人減少。不慮の事故による子どもの死亡数は197人で、昨年と比べ18人減少。子どもの死亡数全体の7.4%を占める。
- ・直近5か年（2020年～2024年）における、子どもの不慮の事故による死亡数を年齢別で見ると、0歳が303件（0～14歳の29.8%）、0～4歳が563件（0～14歳の55.3%）となっている。

子ども（0～14歳）の死亡数の推移（直近10年）



※ 人口動態調査（厚生労働省）を基にこども家庭庁で作成

不慮の事故による年齢別死亡数・比率
(2020年～2024年の累計)



●厚生労働省
「人口動態調査」



II こどもの不慮の事故における死因 ①

概要

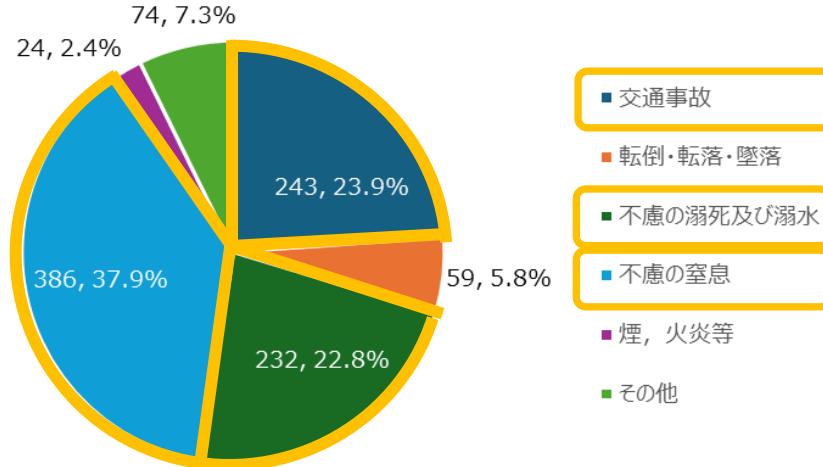
- ・子どもの不慮の事故死は、病気を含むすべての死因の中で上位にある。
- ・直近5か年（2020年～2024年）における、子どもの不慮の事故は、「不慮の窒息」「交通事故」「不慮の溺死及び溺水」が死因の上位にある。

< 2024年における死因（上位） >

※ 人口動態調査（厚生労働省）を基に子ども家庭庁で作成

	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳
第1位	先天奇形、変形及び染色体異常：398人	先天奇形、変形及び染色体異常：105人	悪性新生物＜腫瘍＞：81人	自殺：132人
第2位	周産期に特異的な呼吸障害等：234人	不慮の事故：49人	不慮の事故：46人	悪性新生物＜腫瘍＞：95人
第3位	乳幼児突然死症候群：55人	悪性新生物＜腫瘍＞：47人	先天奇形、変形及び染色体異常：40人	不慮の事故：51人
第4位	胎児及び新生児の出血性障害等：51人 不慮の事故：51人	心疾患：31人	インフルエンザ：21人	先天奇形、変形及び染色体異常：37人
第5位		インフルエンザ：22人	その他の新生物＜腫瘍＞：13人	心疾患：21人

子どもの不慮の事故による死因別死亡数・比率
(2020年～2024年の累計)



< 参考：2024年における日本人の死因（上位） >

	日本人全体
第1位	悪性新生物＜腫瘍＞：384,111人
第2位	心疾患：226,388人
第3位	老衰：206,887人
第4位	脳血管疾患：102,821人
第5位	肺炎：80,176人

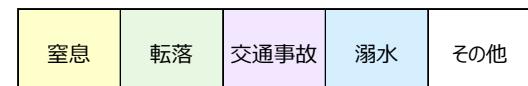
II こどもの不慮の事故における死因 ②

概要

- 「不慮の窒息」は0歳で圧倒的に多く発生。
- 「交通事故」は1歳以上ですべて1位。
- 「不慮の溺死及び溺水」は浴槽内のはか、5歳以上で自然水域での事故が多い。
- 「転倒・転落」は2歳、4歳、10~14歳で「建物からの転落」が多い。

< 不慮の事故による死因の詳細（年齢別・上位）（2020年～2024年の累計）>

	0歳：303人	1歳：109人	2歳：64人	3歳：49人	4歳：38人	5～9歳：214人	10～14歳：241人
第1位	窒息（ベッド内） ：109人（36.0%）	交通事故 ：30人（27.5%）	交通事故 ：20人（31.3%）	交通事故 ：17人（34.7%）	交通事故 ：12人（31.6%）	交通事故 ：86人（40.2%）	交通事故 ：64人（26.6%）
第2位	窒息（胃内容物の誤えん） ：71人（23.4%）	溺水（浴槽内） ：18人（16.5%）	窒息（胃内容物の誤えん） ：8人（12.5%）	窒息（その他の不慮の首つり） ：4人（8.2%）	転落（建物又は建造物） ：8人（21.1%）	溺水（自然水域） ：36人（16.8%）	溺水（浴槽内） ：47人（19.5%）
第3位	窒息（詳細不明） ：28人（9.2%）		転落（建物又は建造物） ：6人（9.4%）		溺水（その他） ：4人（10.5%）	溺水（浴槽内） ：22人（10.3%）	溺水（自然水域） ：43人（17.8%）
第4位	窒息（その他の物体の誤えん） ：23人（7.6%）	窒息（胃内容物の誤えん） ：13人（11.9%）		溺水（浴槽内） ：3人（6.1%）	溺水（自然水域） ：2人（5.3%）	煙、火炎等 ：11人（5.1%）	転落（建物又は建造物） ：12人（5.0%）

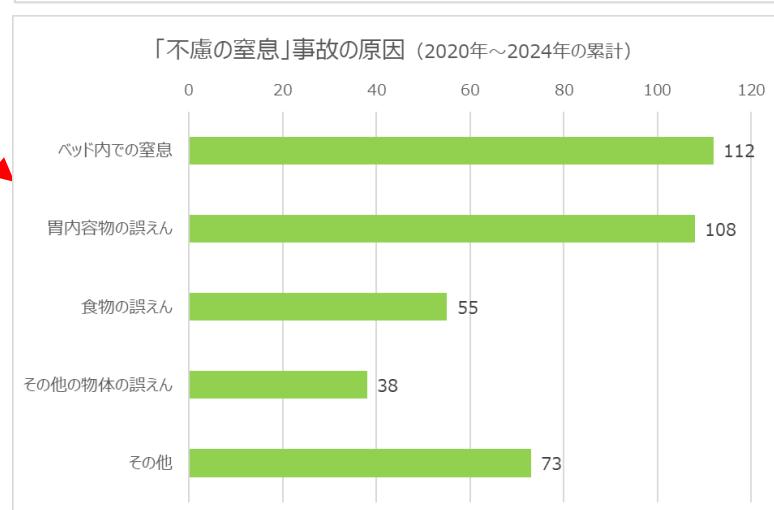
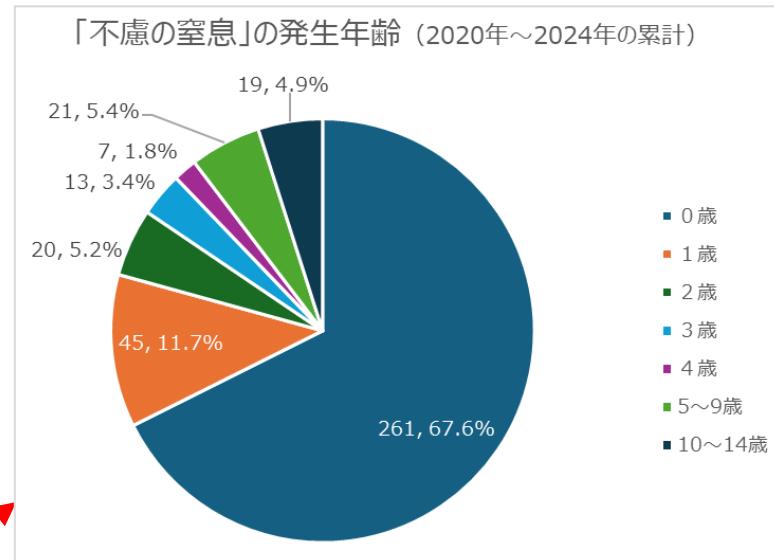


※ 人口動態調査（厚生労働省）を基にこども家庭庁で作成

III 子どもの「不慮の窒息」事故 ①

発生傾向

- ・「不慮の窒息」における死亡数（総数）のうち、子どもが占める割合は0.9%～1.0%の間で推移。
- ・子どもの「不慮の窒息」による事故は比較的低年齢層（特に0歳及び1歳）で多く発生。



III 子どもの「不慮の窒息」事故 ②

事事故例及び「子どもを事故から守る！事故防止ハンドブック」での啓発内容

【就寝時の窒息事故】

●「日頃から親子で使用している低反発マットに子どもを寝かせていました。保護者が家事のため30分ほど目を離していたときに、初めて寝返りをしたようで、気付いた時には、うつ伏せでマットに顔が完全に埋もれていました。抱き上げたが手足がだらんとしていて顔も唇も真っ青で息をしていなかったため心臓マッサージをしたところ、浅く呼吸を始めた。救急搬送時は、意識ははっきりして元気だった。」(0歳5か月) (Vol.640)

就寝時の窒息事故

できるだけベビーベッドを利用することで、多くの事故を避けることができる可能性があります。

うつぶせで寝て、顔が柔らかい寝具に埋もれる

【注意ポイント】

- 大人用ベッドではなく、できるだけベビーベッドに寝かせ、敷布団やマットレス等の寝具は硬めのものを使用しましょう。
- 1歳になるまでは、寝かせる時は、あお向けに寝かせましょう。

0歳～1歳くらい



【たばこ、お酒などの誤飲】

●「キッチンの床に置いた口の開いたゴミ袋の中から、使用後の加熱式たばこを子どもが取り出してかじっているのを保護者が見つけた。すぐに口から吐き出したところ、唾液とたばこの葉を吐き出した。普段はゴミを蓋付きのゴミ箱に入れているが、ゴミ出しの準備で袋を外に置いていた。」(0歳9か月) (Vol.649)

たばこ、お酒などの誤飲

0歳～3歳くらい

【注意ポイント】

- たばこやお酒の誤飲は、ひどい中毒症状が出ることがあります。加熱式たばこの誤飲により内部の金属片を誤飲することがあります。
- たばこやお酒は、子どもの目に触れない場所や、手の届かない場所に保管しましょう。
- 捨てる際も袋等に入れて密封するなど、吸い殻が取り出せないようにしましょう。



【ボタン電池、吸水ボール、磁石などの誤飲】

●「縁日で年上の子のために持ち帰った水で膨らむボールを、洗面器にたくさん入れて遊んでいた。子どもが赤いボールを一つ食べたと言ったため受診し、通院して様子を見ることになった。」(2歳) (Vol.634)

ボタン電池、吸水ボール、磁石などの誤飲

0歳～5歳くらい

【注意ポイント】

- ボタン電池の誤飲は、食道に詰またり胃の中にとどまつたりすると重症事故につながります。ボタン電池を利用している器具は、電池が取り出せないようカバーを固定しましょう。
- 樹脂製の吸水ボールの誤飲により、腸閉塞などを起こすことがあります。
- 複数の磁石の誤飲は、磁石が腸壁を挟んでくっつき消化管穿孔(消化管に穴があくこと)や腸閉塞などを起こすおそれがあります。

これらの物は子どもの手の届かない、見えないところに保管しましょう。
また、商品の対象年齢を必ず守りましょう。



III こどもの「不慮の窒息」事故 ③

事故防止に向けた当庁の取組 1/2

●こども家庭庁

「CDR (Child Death Review : 予防のための
こどもの死亡検証)」



こどもの死亡を防ぐための予防策：窒息事故予防



啓発ポスター「寝ている赤ちゃんのいのちを守るために」(こども家庭庁)

詳細を見る PDFを見る



乳幼児突然死症候群(SIDS)
診断のための問診・チェックリスト(こども家庭庁)

詳細を見る PDFを見る



こどもの窒息事故について
の予防や対策(こども家庭庁)

動画を見る



こどもの食べ物の事故を減らすために 注意すべき食品とは?(こども家庭庁)

動画を見る



食品によるこどもの窒息事故 防ぐための工夫とは? (こども家庭庁)

詳細を見る >

<CDRとは>

- ・医療機関や行政をはじめとする複数の機関・専門家が連携して、亡くなった子どもの事例を検証し、予防策を提言する取り組み。
- ・目的は、予防策を導き出すことで、未来の防ぎうる子どもの死亡を少しでも減らすことにある。
- ・CDRでは「子どもの死亡に関する情報の収集」「専門家が協力して、死亡に至った背景・原因を検証」「効果的な予防策の提言」の3つのプロセスを経て、子どもの死亡を減らすことを目指している。
- ・令和2年度より、複数の自治体でモデル事業としてCDRの取り組みを実施。



III 子どもの「不慮の窒息」事故 ④

事故防止に向けた当庁の取組 2/2

●こども家庭庁

「食べ物による窒息・誤嚥事故に注意！」



食べ物による窒息・誤嚥事故に対する注意喚起の動画メッセージを発信（令和7年1月）



※同時期に、本動画の案内も含めた教育・保育施設等における食品等の誤嚥による窒息事故防止に係る事務連絡を各地方自治体に対して発出（令和7年1月）

●こども家庭庁

「教育・保育施設等における食事中の誤嚥事故防止対策に関する調査研究事業」



令和6年度子ども・子育て支援調査研究事業において、「教育・保育施設等における食事中の誤嚥事故防止対策に関する調査研究事業」を実施し、教育・保育施設等における誤嚥事故防止のためのポイント等についてまとめた啓発資料を作成

教育・保育施設等における誤嚥事故防止のための食材整理表

令和6年度子ども・子育て支援調査研究事業「教育・保育施設等における食事中の誤嚥事故防止対策に関する調査研究」において、使用を避ける食材や調理を工夫する食材について「教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン」を基に整理しましたので、ご活用ください。なお、本整理表に掲載した食材以外でも、誤嚥事故が発生する可能性があることを念頭に置いて、食事の見守りを行いましょう。

使用を避ける食材

粘着性が高く、飲み込みにくい	球形や大きさから、気道に入りやすく、つまりやすい	弾力があり、噛み切りにくい
もち	かき	いか
白玉子	ミニトマト	うずらの卵
乾いたナッツ・豆類	ぶどう	アメ類・ラムネ
やむを得ず使用する場合の留意点	4等分して形や大きさを変える 4等分して形や大きさを変えて、口内に残る皮も取除く 加熱して形や大きさを変える	【※こんなにやく】で代用する

調理を工夫する食材

年齢等	離乳期	1歳6か月～3歳頃
食材	離乳初期 (5～6ヶ月頃) 母はまだ生えていない子が多い。 前歯が生え始める。	2歳頃 前から一番目の歯まで生えそろう。
葉野菜 きのこ類 わかめ ソーセージ 薄切り肉	舌でつぶせる固さにする なめらかにすりつぶした状態にする	歯ぐきでつぶせる固さにする 大人よりはやわらかめの固さ
ゆでたまご ひき肉	歯ぐきで噛める固さにする	歯ぐきで噛める固さにする 大きさは1cm程度から、口腔機能の発達状況に応じて段階的に調整していく
りんご なし	やわらかくなるまで加熱する 生の状態、すりおろしただけの状態では与えない。 【QRコード】具体的な加熱方法は?	個別食材のPOINT ソーセージ：縦半分に切る(太さや長さも調整する) ひき肉：どろみをつける
えび 貝類 おにぎりのり	離乳期に提供することは避ける 【QRコード】おにぎりのりは、「さしみのり」で代用する。	

●近年の誤嚥に関する重大事故は、離乳期のこどもが「りんご」、「パン」を食べた時に多く発生していますので、食材の調理や提供方法等に十分注意してください。

MS&AD MS&ADインターリスク総研

※各地方自治体に対し「新年度における教育・保育施設等の事故防止に向けた取組の徹底について」の事務連絡を発出し、啓発資料について周知（令和7年3月）

III 子どもの「不慮の窒息」事故 ⑤

事故防止に向けた関係省庁の取組等

< 事故防止啓発 >

●政府広報オンライン

「赤ちゃんや子どもを誤飲・窒息事故から守る！
万一のときの対処法は？」



●消費者安全調査委員会

「窒息事故から子どもを守る」(動画)



< 事故防止策 >

●消費者庁

「お子さんによる医薬品の誤飲に気をつけて」



●消費者安全調査委員会

「マグネットボール、キューブ
誤飲すると非常に危険！小さな子に触らせ
ない！」



●独立行政法人国民生活センター

「球形のチーズによる子どもの窒息に注意！
－1歳児の死亡事故が発生しました－」



●独立行政法人国民生活センター

「子どものボタン電池の誤飲事故に気をつけ
ましょう！－電池の放電によるアルカリで
消化管が損傷します－」



< その他（安全な製品の普及に向けた取組） >

●消費者庁

「安全面に配慮された製品に関する取組」



●経済産業省

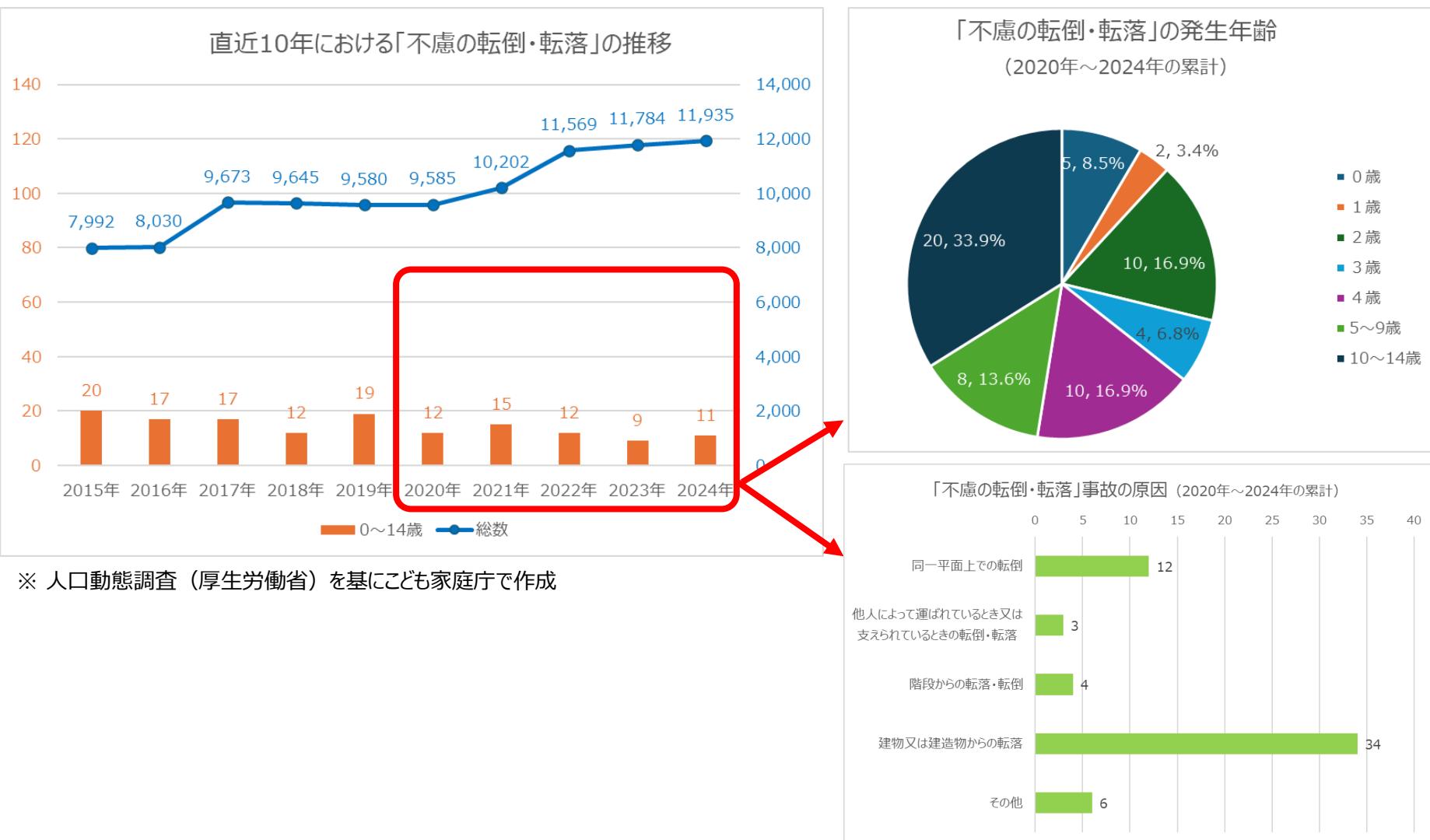
「子どもの製品事故について」



IV 子どもの「転倒・転落」事故 ①

発生傾向

- ・「転倒・転落」における死亡数（総数）のうち、子どもが占める割合は0.1%前後で推移。
- ・子どもの「転倒・転落」は、建物又は建造物からの転落が最も多く、同一平面上での転倒も発生。



IV 子どもの「転倒・転落」事故 ②

事故事例及び「子どもを事故から守る！事故防止ハンドブック」での啓発内容

【ベランダなどからの転落】

- 「集合住宅の3階の自宅で、保護者が郵便物を取りに1階に行く際、子どもだけが部屋に残った。約1分後に戻ると、子どもがおらず、ベランダに通じる窓が開いていた。外を見ると土の地面の上に子どもが仰向けに倒れており、救急要請した。背中などを打っており、肝臓損傷の疑いのため全身の経過観察目的で約1週間の入院となった。事故時は、洗濯物を干した直後で、窓は閉めていたが鍵をかけ忘れており、ベランダの柵の近くに植木鉢など踏み台になるものが置かれていた。これまで子どもがベランダに出たがることはなかった。」(3歳) (Vol.625)
- 「保護者が台所で洗い物をしている間、ベランダに面するリビングで子ども2人が遊んでいた。子どもの声がしないため様子を見ると、網戸が開けられており、3m下の地面で泣いていた。柵の隙間から落ちたと考えられた。高エネルギー外傷のため経過観察目的で約1週間の入院となった。普段から子どもにベランダに出ないように言い聞かせており、ベランダには踏み台になる物は置いていなかった。柵の間隔は設計図面の11cmより広い15cmあることは認識しており、ネットを張るように言われていたがやっていなかった。」(2歳) (Vol.625)

【窓や出窓からの転落】

- 「自宅2階の部屋で年上の子どもと一緒に遊んでいた。本人が窓際に椅子を移動させて登り、窓枠に腰かけた。網戸にもたれかかってぼよんぼよんと反動で遊んでいたところ、網戸が外れ、窓枠から外のウッドデッキの上に落下した。顔面や骨盤の骨折、内臓損傷を負い集中治療室へ入院となった。」(5歳) (Vol.625)

ベランダなどからの転落

1歳以上

[注意ポイント]

1. ベランダを子どもの遊び場にしないようにし、子どもだけでベランダに出ないよう注意しましょう。
2. ベランダから身を乗り出すと転落する危険があることを教えましょう。
3. ベランダに植木鉢、椅子などの踏み台になるものを置かないようにしましょう。エアコンの室外機は手すりから60cm以上離して設置するか、上からつるしましょう。
4. 子どもだけを家に残して外出することは避けましょう。



窓や出窓からの転落

1歳以上

[注意ポイント]

1. 窓に補助錠やストッパーをつけて、大きく開かないようにしましょう。
2. 窓の近くにベッドやソファーなど踏み台になるものは置かないようにしましょう。
3. 網戸に寄りかかると破れて転落するおそれがあるので、窓を開ける幅を制限できない場合は、網戸に寄りかかれないと柵を設置しましょう。



IV 子どもの「転倒・転落」事故 ③

事故防止に向けた当庁の取組

●こども家庭庁

「CDR (Child Death Review : 予防のための子どもの死亡検証)」



子どもの死亡を防ぐための予防策：転落事故予防

子どもの転落事故について
の予防や対策(こども家庭
庁)



動画を見る



(CDR) 子どもの転落事故を防ぐには

CDR こども家庭庁CDR【公式】
チャンネル登録者数 19人

チャンネル登録

凸 ◻ 共有 保存 ...

●政府広報オンライン お役立ち動画

令和7年7月公開

子どもの転落事故



安心・安全（その他）

子育て・教育のトラブル

守ろう命！子どもの転落事故
を防ぐ3つのポイント

#お役立ち動画 #子どもの事故

※2025こども霞が関見学デーで
放映（令和7年8月）



IV 子どもの「転倒・転落」事故 ④

事故防止に向けた関係省庁の取組等

< 事故防止啓発 >

●政府広報オンライン

「ご注意ください！窓やベランダからの子どもの転落事故」



●消費者安全調査委員会

「住宅の窓及びベランダからの子どもの転落事故」



< 事故防止策 >

●消費者庁

「子どもの転落事故に注意！ - 落ちるまでは
あっという間です。事前の対策で事故防止を -」



●消費者庁

「窓やベランダからの子どもの転落事故に
御注意ください！ - 網戸に補助錠を付ける、
ベランダに台になる物を置かないなどの対策を -」



<その他（事故防止に資する取組）>

●経済産業省

「子どもの窓及びベランダからの転落防止の
ための製品の研究・開発の促進に関する要請」



●国土交通省

「住宅の窓及びベランダからの子どもの転落
事故への対応について」



V こどもの「不慮の溺死及び溺水」事故 ①

発生傾向

- ・「不慮の溺死及び溺水」における死亡数（総数）のうち、こどもが占める割合は0.4%～0.7%の間で推移。
- ・子どもの「不慮の溺死及び溺水」は、浴槽での溺水が最も多く、次いで海・川等自然水域での溺水が多く発生。

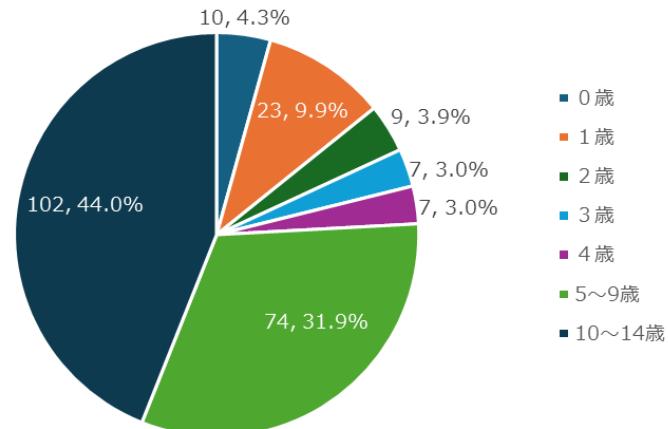
直近10年における「不慮の溺死及び溺水」の推移



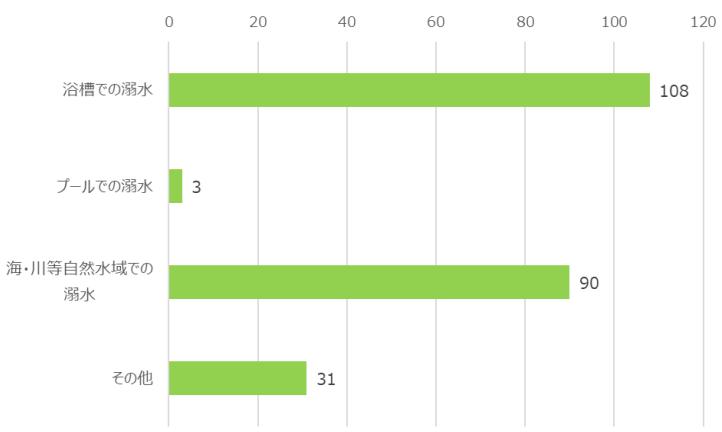
※ 人口動態調査（厚生労働省）を基にこども家庭庁で作成

「不慮の溺死及び溺水」の発生年齢

(2020年～2024年の累計)



「不慮の溺死及び溺水」事故の原因 (2020年～2024年の累計)



V こどもの「不慮の溺死及び溺水」事故 ②

事事故例及び「こどもを事故から守る！事故防止ハンドブック」での啓発内容

【入浴時に溺れる事故】

- 「保護者と4歳の兄と3人で入浴。保護者は洗い場で兄を洗っていた。普段はその間、下の子を洗い場の椅子に座らせており、つかまり立ちが安定してきたことと、寒かったこともあり、浴槽内でつかまり立ちをさせていた。保護者が一瞬目を離し気付いた時には、湯の中で口を開けたままお向けになっていた。すぐに抱き上げたところ大量の水を吐き出し、呼吸はすぐにできた。」（0歳）（Vol.434）
- 「保護者と兄弟が一緒に入浴しようとしていた。下の子が先に浴槽に入ってしまい数秒溺れた。おそらく浴槽内のおもちゃを取ろうとしていたと思われる。体を逆さにして吐かせようとしたところ4回嘔吐した。夕食は普通に摂れたが、体温が39.8℃あり、救急受診。」（1歳）（Vol.434）

【海や川での事故】

- 「4人家族のうち、子ども2人が川遊びをしているうち、1人が流された。助けようとした保護者は流され死亡。子どもはライフジャケットを着用しており、近くにいた人に助けられた。保護者は未着用だった。」（Vol.632）
- 「河口付近で遊泳中の男児2名が沖に流され、これに気付いた父親と付近で泳いでいた男性が救助に向かうも同様に沖に流されてしまい、計4名が行方不明となった。その後、4名は発見されるも死亡が確認された。なお、4名とも救命胴衣非着用であった。」（Vol.632）

入浴時に溺れる

0歳～5歳くらい

[注意ポイント]

1. 大人が洗髪する際には、こどもを浴槽から出しましょう。
2. 浮き輪の使用中でも溺れる事故が発生しています。
保護者が目を離す状況で使用するのはやめましょう。
3. お風呂から上がる際には、こどもを先に浴槽・浴室から出しましょう。



海や川での事故

2歳以上

[注意ポイント]

1. こどもだけで海や川などで遊ぶことがないよう注意しましょう。
2. 遊ぶ時はライフジャケットを着用させ、必ず大人が付き添うようにしましょう。



V こどもの「不慮の溺死及び溺水」事故 ③

事故防止に向けた当庁の取組

●こども家庭庁

「CDR (Child Death Review : 予防のための
こどもの死亡検証)」



こどもの死亡を防ぐための予防策：水の事故予防



動画を見る

溺水事故からこどもを守る
(こども家庭庁)



動画を見る

子どもの川の水難について
の予防や対策(こども家庭
庁)



詳細を見る >

ひとごとではない川での水
難事故 どうすれば防げる
の?(こども家庭庁)

●政府広報オンライン
お役立ち動画



令和7年9月公開

こどもの水の事故

こどもの水の事故



安心・安全（その他）

気象・レジャー

こどもの水の事故 どこが危
険? 事前の対策で危険を回
避!

#お役立ち動画 #こどもの事故
#マリンレジャー



※こどもの転落事故防止の動画（P11参照）と
合わせ、各都道府県のこども政策主管部局に対し、
動画周知の事務連絡を発出（令和7年10月）

V こどもの「不慮の溺死及び溺水」事故 ④

事故防止に向けた取組（連絡会議主体）

- 令和7年度 こどもの事故防止週間

「水の事故は近くにあります、みんなで危険回避！」



<こどもの事故防止週間>

- 令和7年度は「溺水による事故の防止」をテーマとし、7月 14 日～20 日にかけて実施
- 関係府省庁が連携して、保護者及び教育保育関係者等に対し、集中的な広報活動等を実施

事故防止週間ポスター



溺水事故に関するポータルサイト

こどもまんなか
こども家庭庁 ホーム こども向け 相談窓口 子育て中の皆さんへ 自治体の方 Global Site 検索 メニュー

水の危険は近くにあります、みんなで危険回避！

~一つ一つの行動が安全を創りだす~

本サイトでは、関係機関等と連携し、こどもの溺水による事故に関する現況や予防法等について、情報をとりまとめています。こどもは大人に比べ事故の危険に対する判断ができないため、保護者などの、こどもを取り巻く関係者が注意を払う必要があります。こどもが溺水事故に遭うことのないよう、本サイトをご活用いただき、対策を取っていただければ幸いです。

- 1. こどもの不慮の溺死・溺水事故の発生状況
- 2. こどもに起る水の事故の特徴
- 3. 川で起る事故
- 4. 海で起る事故
- 5. 浴槽やプール等で起る事故



SNSでの情報発信

こども家庭庁 @KodomoKatei

7月14日～20日は #こどもの事故防止週間 です。
中学生以下のこどもの水難事故の半数以上は夏季に発生しています。こどもの水の事故を防ぐため、こどもが水に接するときは、大人は目を離さず、手の届く範囲で見守りましょう！
令和7年度こどもの事故防止週間サイト
cfa.go.jp/policies/child...

※各都道府県、東京メトロ駅各管区、JR東日本管轄駅に送付し掲示を依頼

▽ 子どもの「不慮の溺死及び溺水」事故 ⑤

事故防止に向けた関係省庁の取組等 1/2

< 事故防止啓発 >

●消費者庁

「子どもの水の事故を防ごう!
-7月25日は「世界溺水防止デー」、予防策を
再確認して行動を! -」



●文部科学省

「夏休み期間における河川等水難事故防止の
普及啓発についての協力願い（依頼）」



●農林水産省

「ため池の転落事故防止のための安全対策に
ついて」



●国土交通省

「河川水難事故防止週間」



●海上保安庁

「海の事故ゼロキャンペーン」



< 情報提供 >

●警察庁

「山岳遭難・水難」



●国土交通省

「河川水難事故防止ポータルサイト」



▽ 子どもの「不慮の溺死及び溺水」事故 ⑥

事故防止に向けた関係省庁の取組等 2/2

●国土交通省

「ミズベアソビガイド」



●海上保安庁

「Water Safety Guide」



< 情報提供（子ども向け） >

●国土交通省

「川のひみつを探しに行こう！～楽しく学ぶ水辺の環境と安全～」（子ども霞が関見学デー2025）



●国土交通省

「リバーアドベンチャー～川に魅せられし者たち～」（動画）



●国土交通省・河川財団×うんこドリル

「うんこドリル 川の安全」



●海上保安庁×うんこドリル

「うんこ 海の安全ドリル」



●公益財団法人日本ライフセービング協会

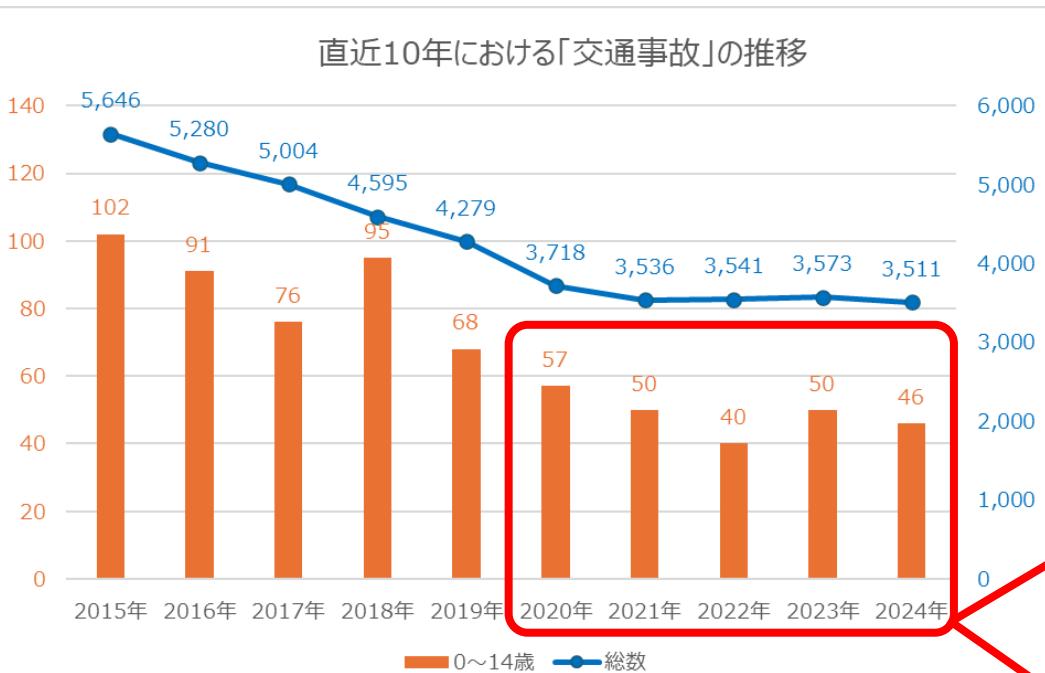
「守ろう！いのち 学び合おう！水辺の安全」



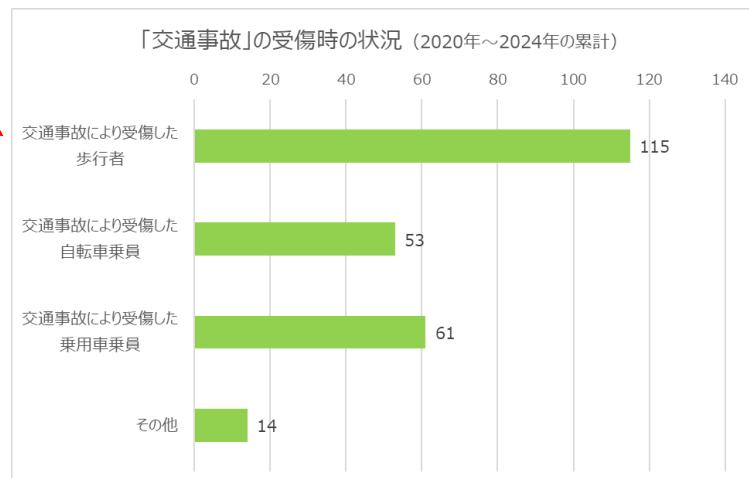
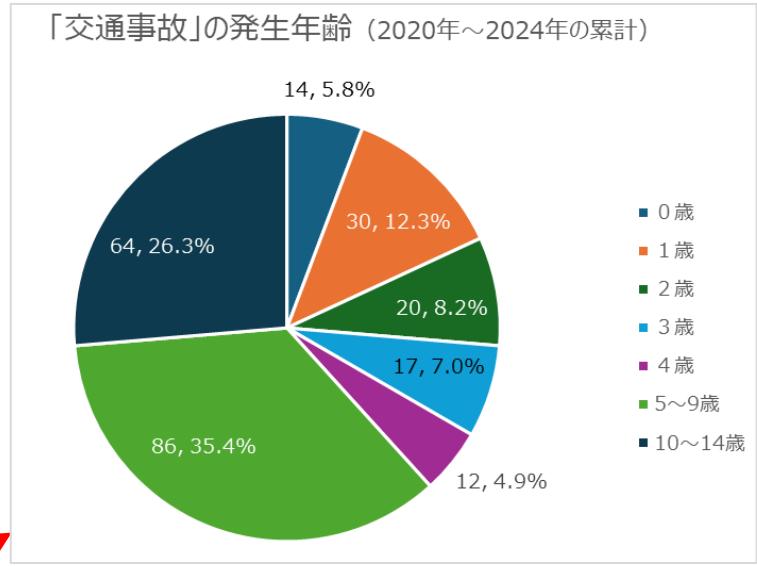
VI-1 こどもが受傷する「交通事故」①

発生傾向

- 「交通事故」における死亡数（総数）のうち、こどもが占める割合は1.1%～1.5%の間で推移。
- こどもが受傷する「交通事故」は歩行中が最も多く、次いで乗用車や自転車の乗用中で多く発生。



※ 人口動態調査（厚生労働省）を基にこども家庭庁で作成



VI-1 こどもが受傷する「交通事故」②

事故防止に向けた当庁の取組

●こども家庭庁

「CDR (Child Death Review : 予防のための
こどもの死亡検証)」



こどもの死亡を防ぐための予防策：交通事故予防

こどもの交通事故についての予防や対策(こども家庭庁)

動画を見る

特に、小学生以下のこどもは、交通ルールをよくわかっておらず、

「こどもを事故から守る！事故防止ハンドブック」 での啓発内容

1歳以上

道路上などでの事故

【注意ポイント】

1. こどもと歩く時は、手をつなぎ、白線の内側を歩きましょう。また、歩道を歩くときは、大人が車道側を歩くようにしましょう。
2. 道路に飛び出しをしないことなど、交通事故の危険や交通ルールについて教えましょう。
3. 道路越しにこどもに声を掛けると、飛び出しの危険があるので、声を掛けないようにしましょう。
4. 駐車場はとても危険な場所です。車の乗り降りの際は特に注意を払ってください。死角も多く、飛び出す危険性もありますので、手をつないでください。

VI-2 こどもが受傷する「自動車・自転車関連の事故」①

事故事例及び「こどもを事故から守る！事故防止ハンドブック」での啓発内容

【チャイルドシート未使用または誤使用による事故】

●「こどもが後部座席に取り付けたチャイルドシートに座っていたところ、保護者が運転する車が時速40km程度で電柱に衝突した。保護者が気付いた時には、こどもがチャイルドシートに座った状態で、車の側面に頭部を打撲し出血していた。頭蓋骨陥没骨折、急性硬膜下出血、脳挫傷及び脳神経の損傷が認められ、入院となった。こどもが嫌がるため、日頃からチャイルドシートの肩ベルトを付けていなかった。」(2歳) (Vol.653)

【こども乗せ自転車での転倒】

●「自転車の前座席に下の子、後部座席に上の子を乗せて走行中、ハンドルに掛けているリュックがガードレールに引っかかり、左側に自転車ごと転倒した。子どもは二人とも投げ出され、下の子は頭蓋骨骨折、硬膜外血腫等により、集中治療室で全身管理となり、約10日間の入院が必要となった。ヘルメット・座席ベルトは付けていなかった。」(1歳) (Vol.622)

【車のドア等に挟まれる事故】

●「駐車時に、後部座席のチャイルドシートに座っていた子どもが窓から顔を出しているのに気付かないままパワーウィンドウを閉めてしまい、首が挟まり顔面蒼白になった。その後も声を出さずぼーっとしているため救急要請し、入院となった。」(3歳) (Vol.562)

【車内の熱中症】

●「子どもが車の中からドアをロックしてしまい、20分後に救出された。体温は39°C台で意識ははっきりとしていたが、汗を多量にかいていた。点滴をしてしばらく経過観察となった。」(2歳) (Vol.593)

チャイルドシート未使用または誤使用による事故

0歳～6歳くらい

【注意ポイント】

- 抱っこ乗車は危険です。こどもを抱っこしたままシートベルトを締めることも危険です。
- 短時間の乗車であっても、チャイルドシート（※ジュニアシートを含みます）を使用しましょう。
- 6歳になるまでは、必ずチャイルドシートを使用しましょう。6歳になつても、シートベルトを正しく使える体格（目安は身長150cm以上）になるまではチャイルドシートを使用しましょう。
- チャイルドシートは取扱説明書をよく読んで、座席にしっかりと取り付け、正しく使用しましょう。

0歳～6歳くらい

こども乗せ自転車での転倒

【注意ポイント】

- 都道府県公安委員会規則により、こどもを乗せることは、未就学児で、幼児用座席を設置した場合に認められています。
- 座席に乗せる前にヘルメットを着用させ、乗せた後は必ずシートベルトを確実に締めましょう。
- こどもを乗せたまま自転車を離れないようにしましょう。
- こどもを2人乗せる時は、転倒防止のため、「乗せる時は、後部座席から前部座席」、「降ろす時は、前部座席から後部座席」の順番を守りましょう。
- 抱っこひもでこどもを前抱っこしながら運転することは道路交通法違反です。おんぶをしていても走行中の死亡事故が発生しているので、できるだけ避けるようにしましょう。
- 自転車や幼児用座席に不具合がないか、定期的にチェックしましょう。



車のドアやパワーウィンドウに挟まれる事故

0歳～3歳くらい

【注意ポイント】

- 車のドアやパワーウィンドウを閉める時は、こどものそばで顔や手が出ていないか安全を確認してから閉めましょう。
- こどもが自分で開閉操作ができないように、ロック機能を活用しましょう。



0歳～6歳くらい

車内での熱中症

0歳～6歳くらい

【注意ポイント】

- こどもだけを車内に残しておくことは大変危険です。予想外に車内温度が上昇することがあります。その結果、熱中症に陥り、死に至ることもあります。
- 短時間でもこどもは熱中症に陥ることがあります。大人の感覚とは異なるので注意が必要です。



事故防止に向けた当庁・関係省庁の取組等

< 事故防止啓発 >

● こども家庭庁

「ありえない？いいえあります！
子どもの車内置き去りによる熱中症」（動画）



● 令和6年度 子どもの事故防止週間

「みんなで見守り「子どもの熱中症」を防ぎましょう！」



● 令和5年度 子どもの事故防止週間

「子どもの取り残し、置き去りによる事故の防止」



● 独立行政法人国民生活センター

「自転車後部に同乗中の子どもの事故に
注意！－障害物と接触して大腿骨を
骨折する事故も－」



< 事故防止策 >

● 国土交通省・警察庁

「お子様を車に乗せる際の注意事項について」



● 国土交通省

「チャイルドシートを正しく使いましょう
～お子さまを交通事故から守るために～」（動画）



安全装置の点検整備を行う上での
主な確認項目について周知

<その他>

● こども家庭庁・文部科学省

「送迎用バスの置き去り防止を支援する安全
装置の点検整備について」



● JAF（一般社団法人日本自動車連盟）

「秋の車内温度（JAFユーザー試験）快適な
すごしやすい天候でも、車内は“危険温度”」



VII 子どもの発育と起こりやすい事故

「子どもを事故から守る！事故防止ハンドブック」



発達の目安	誕生	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9か月	10か月	11か月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳			
	首がすわる 足をバタバタさせる			離乳食を始める 寝返りをうつ	一人座り	ハイハイをする つかまり立ち	指で物をつかむ				一人歩き 走る	階段を登り降りする その場でジャンプ 高い所へ登れる							
窒息・誤飲事故	<就寝時の窒息事故> ・うつぶせで寝て、顔が柔らかい寝具に埋もれる ・掛布団、ベッド上の衣類、ぬいぐるみ、スタイルなどで窒息	・ベッドと壁の隙間などに挟まる ・家族の身体の一部で圧迫される	4ページ			・食事中に食べ物で窒息 ・おもちゃなど小さな物で窒息	5ページ		・ボタン電池、吸水ボール、磁石などの誤飲 ・医薬品、洗剤、化粧品などの誤飲 ・包装フィルム、シールなどの誤飲	5ページ	・ミルクの吐き戻しによる窒息	4ページ		・たばこ、お酒などの誤飲	4ページ	・ブラインドやカーテンのひも、洗濯機への閉じ込めなどによる窒息	4ページ		
転落・転倒事故	・大人用ベッドやソファからの転落 ・抱っこひも使用時の転落 ・ベビーカーからの転落	・ベビーベッドやおむつ替えの台からの転落	6ページ			・椅子やテーブルからの転落	6ページ		・階段からの転落、段差での転倒	6ページ	・ベランダなどからの転落 ・窓や出窓からの転落	6ページ		・ショッピングカートからの転落	7ページ	・遊具(すべり台、ジャングルジム、ブランコなど)からの転落 ・ペダルなし二輪遊具、キックスケーター等での転倒	7ページ		
車・自転車関連の事故	・チャイルドシート未使用または誤使用による事故 ・車内での熱中症	・車のドアやパワーウィンドウに挟まる事故	8ページ			・こども乗せ自転車での転倒 ・自転車に乗せたこどもの足が後輪に巻き込まれる、スクータ外傷	8ページ			・道路上での事故 ・機械式立体駐車場での挟まれ事故	8ページ				・8ページ	・8ページ	・8ページ	・9ページ	・9ページ
水まわりの事故	・入浴時に溺れる	・浴槽へ転落し溺れる ・洗濯機、バケツや洗面器などによる事故	10ページ			・ビニールプールやプールなどの事故	10ページ			・海や川での事故・ため池、用水路、排水溝、浄化槽での事故	10ページ				10ページ				
やけど		・お茶、みそ汁、カップ麺などでのやけど ・暖房器具や加湿器でのやけど	11ページ			・電気ケトル、ポット、炊飯器でのやけど ・調理器具やアイロンでのやけど	11ページ			・ライター、花火によるやけど	11ページ								
挟む・切る・その他の事故	・エスカレーター、エレベーターでの事故・スマートフォン等の充電時に起きる事故 ・こどもの熱中症	・テーブルなどの家具で打撲	12ページ			・カミソリ、カッターはさみなどの刃物やおもちゃでのけが ・小さな物を鼻や耳に入れる	12ページ			・キッチン付近の包丁、ナイフでのけが ・ドアや窓で手や指を挟む ・タンスなどの家具を倒して下敷きになる ・転倒によりぶら下げていた水筒が腹部にあたる事故 ・歯磨き中に歯ブラシでの喉突きなどの事故	12ページ				12ページ			12ページ	13ページ

(参考) データの出典等

データの出典

頁	図・表	出典
1	こども（0～14歳）の死亡数の推移（直近10年） 不慮の事故による年齢別死亡数・推移（2020年～2024年の累計）	人口動態調査 上巻 死亡 第5. 15表 死因（死因年次推移分類）別にみた性・年齢（5歳階級）・年次別死亡数及び死亡率（人口10万対）
2	2024年における死因（上位） こどもの不慮の事故による死因別死亡数・比率（2020年～2024年の累計）	人口動態調査 上巻 死亡 第5. 17表 死因順位別にみた性・年齢（5歳階級）別死亡数・死亡率（人口10万対）及び割合
3	不慮の事故による死因の詳細（年齢別・上位）（2020年～2024年の累計）	
4	直近10年における「不慮の窒息」の推移 「不慮の窒息」の発生年齢（2020年～2024年の累計） 「不慮の窒息」事故の原因（2020年～2024年の累計）	
9	直近10年における「不慮の転倒・転落」の推移 「不慮の転倒・転落」の発生年齢（2020年～2024年の累計） 「不慮の転倒・転落」事故の原因（2020年～2024年の累計）	人口動態調査 下巻 死亡 第1表-1 死亡数、死因（三桁基本分類）・性・年齢（5歳階級）別（ICD-10コードV～Y、U）
13	直近10年における「不慮の溺水」の推移 「不慮の溺水」の発生年齢（2020年～2024年の累計） 「不慮の溺水」事故の原因（2020年～2024年の累計）	
19	直近10年における「交通事故」の推移 「交通事故」の発生年齢（2020年～2024年の累計） 「交通事故」の受傷時の状況（2020年～2024年の累計）	

(参考) データの出典等

不慮の事故における各事故の分類

死因3桁基本分類により以下のとおり分類

(V01-X59)不慮の事故

(V01-V98)交通事故

(W00-X59)交通事故をのぞく不慮の事故

(W00-W17)転倒・転落・墜落

同一平面上での転倒	W00,01,03
他人によって運ばれているとき又は支えられているときの転倒・転落	W04
階段からの転落・転倒	W10
建物又は建造物からの転落	W13
その他	W02,05-09,11,12,14-17

(W65-W74)不慮の溺死及び溺水

浴槽での溺水	W65,66
プールでの溺水	W67,68
海・川等自然水域での溺水	W69,70
その他	W73,74

(W75-W84)不慮の窒息

ベッド内での窒息	W75
胃内容物の誤えん	W78
食物の誤えん	W79
その他の物体の誤えん	W80
その他	W76,77,81,83,84

(X00-X09)煙, 火炎等

(参考) データの出典等

関連サイト等 1/2

項目	事項	URL
1	人口動態調査 【厚生労働省】	https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/81-1.html
5ほか	みんなの消費安全ナビ from 消費者庁 【消費者庁】	https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/child/project_001/mail
5ほか	こどもを事故から守る！事故防止ハンドブック 【こども家庭庁】	https://www.cfa.go.jp/policies/child-safety-actions/handbook
6ほか	CDR (Child Death Review : 予防のための こどもの死亡検証) 【こども家庭庁】	https://cdr.cfa.go.jp/
7	食べ物による窒息・誤嚥事故に注意！ 【こども家庭庁】	https://www.youtube.com/watch?v=KvbCvKAzTSs
7	教育・保育施設等における食事中の誤嚥事故防止対策に関する調査研究事業 【こども家庭庁】	https://www.cfa.go.jp/policies/child-safety/effort/report#goen-chosa
8	赤ちゃんやこどもを誤飲・窒息事故から守る！万一のときの対処法は？ 【政府広報オンライン】	https://www.gov-online.go.jp/article/202408/entry-6450.html
8	窒息事故から子どもを守る（動画） 【消費者安全調査委員会】	https://www.youtube.com/watch?v=PaT8fjCNzQI
8	お子さんによる医薬品の誤飲に気をつけて 【消費者庁】	https://www.caa.go.jp/publication/pamphlet/pdf/children_medicine_poster.pdf
8	マグネットボール、キューブ 誤飲すると非常に危険！小さな子に触らせない！ 【消費者安全調査委員会】	https://www.caa.go.jp/policies/council/csic/report/report_021/assets/csic_cms101_211125_01.pdf
8	球形のチーズによる子どもの窒息に注意！－1歳児の死亡事故が発生しました－ 【独立行政法人国民生活センター】	https://www.kokusen.go.jp/news/data/n-20241220_1.html
8	子どものボタン電池の誤飲事故に気をつけましょう！－電池の放電によるアルカリで消化管が損傷します－ 【独立行政法人国民生活センター】	https://www.kokusen.go.jp/news/data/n-20240731_4.html
8	安全面に配慮された製品に関する取組 【消費者庁】	https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/child/project_009/
8	子どもの製品事故について 【経済産業省】	https://www.meti.go.jp/product_safety/kodomo/index.html
11	守ろう命！子どもの転落事故を防ぐ3つのポイント 【政府広報オンライン】	https://www.gov-online.go.jp/useful/202507/video-300513.html
12	ご注意ください！窓やベランダからの子どもの転落事故 【政府広報オンライン】	https://www.gov-online.go.jp/useful/article/202107/3.html
12	住宅の窓及びベランダからの子どもの転落事故 【消費者安全調査委員会】	https://www.caa.go.jp/policies/council/csic/report/report_025
12	子どもの転落事故に注意！－落ちるまではあっという間です。事前の対策で事故防止を－ 【消費者庁】	https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/caution/caution_061/
12	窓やベランダからの子どもの転落事故に御注意ください！－網戸に補助錠を付ける、ベランダに台になる物を置かないなどの対策を－ 【消費者庁】	https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/caution/caution_037/
12	子どもの窓及びベランダからの転落防止のための製品の研究・開発の促進に関する要請 【経済産業省】	https://www.caa.go.jp/policies/council/csic/report/report_025/assets/csic_cms201_250624_04.pdf
12	住宅の窓及びベランダからの子どもの転落事故への対応について 【国土交通省】	https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/build/content/001903979.pdf
15	子どもの水の事故 どこが危険？事前の対策で危険を回避！ 【政府広報オンライン】	https://www.gov-online.go.jp/useful/202509/video-300642.html
16	水の事故は近くにあります、みんなで危険回避！ 【令和7年度子どもの事故防止週間】	https://www.cfa.go.jp/policies/child-safety-actions/special-week-2025

(参考) データの出典等

関連サイト等 2/2

項目	事項	URL
17	子どもの水の事故を防ごう!-7月25日は「世界溺水防止デー」、予防策を再確認して行動を! - 【消費者庁】	https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/caution/caution_062/
17	夏休み期間における河川等水難事故防止の普及啓発についての協力願い（依頼）【文部科学省】	https://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/anzen/1421128_00018.html
17	ため池の転落事故防止のための安全対策について【農林水産省】	https://www.maff.go.jp/j/nousin/bousai/bousai_saigai/b_tameike/attach/pdf/anzen-2.pdf
17	河川水難事故防止週間【国土交通省】	https://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo05_hh_000251.html
17	海の事故ゼロキャンペーン【海上保安庁】	https://www.kaiho.mlit.go.jp/mission/kaijyoukoutsu/jikozero.html
17	山岳遭難・水難【警察庁】	https://www.npa.go.jp/publications/statistics/safetylife/sounan.html
17	河川水難事故防止ポータルサイト【国土交通省】	https://www.mlit.go.jp/river/kankyo/play/anzenriyou.html
18	ミズベアソビガイド【国土交通省】	https://www.mlit.go.jp/river/kankyo/pdf/mizubeasobiguide.pdf
18	Water Safety Guide【海上保安庁】	https://www6.kaiho.mlit.go.jp/watersafety/index.html
18	川のひみつを探しに行こう！～楽しく学ぶ水辺の環境と安全～（こども霞が関見学デー2025）【国土交通省】	https://www.mlit.go.jp/page/kanbo01_hy_010258.html
18	リバーアドベンチャー～川に魅せられし者たち～（動画）【国土交通省】	https://www.youtube.com/watch?v=IrIkZCm11I0
18	うんこドリル 川の安全【国土交通省・河川財団×うんこドリル】	https://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo04_hh_000177.html
18	うんこ 海の安全ドリル【海上保安庁×うんこドリル】	https://www.kaiho.mlit.go.jp/info/topics/post-773.html
18	守ろう！いのち 学び合おう！水辺の安全【公益財団法人日本ライフセービング協会】	https://elearning.jla-lifesaving.or.jp/
22	ありえない？いいえあります！子どもの車内置き去りによる熱中症（動画）【こども家庭庭】	https://www.youtube.com/watch?v=uGXb-9wMrP8
22	子どもの取り残し、置き去りによる事故の防止【令和5年度子どもの事故防止週間】	https://www.cfa.go.jp/policies/child-safety-actions/special-week-2023
22	みんなで見守り「子どもの熱中症」を防ぎましょう！【令和6年度子どもの事故防止週間】	https://www.cfa.go.jp/policies/child-safety-actions/special-week-2024
22	自転車後部に同乗中の子どもの事故に注意！－障害物と接触して大腿骨を骨折する事故も－【独立行政法人国民生活センター】	https://www.kokusen.go.jp/news/data/n-20240529_3.html
22	お子様を車に乗せる際の注意事項について【国土交通省・警察庁】	https://www.mlit.go.jp/jidosha/child/child-check.pdf
22	チャイルドシートを正しく使いましょう～お子さまを交通事故から守るために～（動画）【国土交通省】	https://www.youtube.com/watch?v=swpzweGVkn4
22	送迎用バスの置き去り防止を支援する安全装置の点検整備について【こども家庭庭・文部科学省】	https://www.cfa.go.jp/assets/contents/node/basic_page/field_ref_resources/787dd8a4-3b44-4eed-a661-b9d0729f70c9/e8dad4de/20250902_policies_child-safety_effort_tsuchi_30.pdf
22	秋の車内温度（JAFユーザーテスト）快適なすごしやすい天候でも、車内は“危険温度”【JAF（一般社団法人日本自動車連盟）】	https://jaf.or.jp/common/safety-drive/car-learning/user-test/temperature/autumn